

当局はボランティア福祉協議会を助けるものである、等々である。もし、ボランティア福祉協議会が同意すれば、社会福祉行政当局に代って職務を遂行を依頼されるが、要援護者に対する責任は当局側にある。もしある場合に、ボランティア福祉協議会が援助を承諾したときには、福祉行政当局は、現金給付に関係のない限り手をひかなければならない。93章によれば、社会福祉行政当局は、あらゆる必要設備が手に入るよう保証しなければならない。もし、ボランティア福祉協議会に属する適当な設備が使えるならば、新しい設備を導入することはできない。この設備を利用するばあい、社会福祉行政当局が支払いを行うのである。

ボランティア福祉事業団体連合会は、援助を必要としている人々の声を代表する重要な機関である。毎日およそ200万の人々が、6つの上部団体を通して、行政当局に対して援助を要請している。これに関する広汎な仕事が毎日様々なボランティア組織とその職員によって行なわれているが、それに加えて、ボランティア福祉協議会は、その存在があまり表面に出てこない人々や、切実な要求があまり受け入れられていない人々、生産中心の社会で置き去りにされた人々など、そうしたすべての人々の声の代表の役をつとめている。こうした努力は、団体連合会に関する法律によって保証されており、この中で、「人々の社会的責任を養い強化すること」が特殊な職務の一つだ、と述べられている。だが、一般の人々にある目的を達成しようとしてアピールを行なっても成功することはそれほど多くない。多くの変化が法を通して行われなければならないのである。こうした改革が行われるには、数週間、数ヶ月いや数年もが必要であり、そうこうするうちに基礎ができあがり結果が評価されてゆくのである。ボランティア福祉協議会は、社会法が作られ施行される委員会での発言権を持っている。最初は全く合意が得られなくても、多くのばあい、援助を望む人の為になる様な有効な解決が得られるのである。こうした業績があるからといって、以前から同じことであるが、団体連合会に属する上部団体の将来が保証されているとは決していえない。新しい問題が常に待ちかまえている。そうした問題を発見し、解決してゆくことが、

すべての協議会に課せられた共通の目標であることにはかわりはないのである。

Social Service Quarterly, Winter, 1973-4.

pp.93 - 96.

(小林良二 社会保障研究所)

失業者に対する政策

— 援助か抑圧か —

(イギリス)

I

一般に失業は各人が防ごうにも防ぎきれないものである。各国で失業保険制度が社会保障の一環として取り入れられるようになったのも、失業による貧困が決して個人の責任に帰することができないと一般に認められるようになったからである。しかしながらすべての失業が非自発的なものかというとは限らない。自発的な失業と非自発的な失業とを区別することは実際には非常に困難なことであるが、何らかの方法でこれを区別し、非自発的な失業にその給付を限定しようとするのが失業保険制度の一般的な運営方法である。

ここに紹介する文献はイギリスの問題を扱ったものである。失業者に対する失業給付と補足給付の制限的な支給が、それらの給付を最も必要としている人々を抑圧する結果になっていることを批判したものである。

II

失業者は一般に二つの社会保障給付を受けることができる。一つは国民保険制度の下での失業給付であり、他は補足給付である。

失業給付を受給したいと思う人は職業紹介所に出頭し登録しなければならない。職業紹介所自体は雇用省の管轄下にあるが、失業保険給付の支給は保健社会保障省にかわって雇用省の方が取り扱っているわけである。失業者は、ここで労働が可能であることまた就業できることを示せば、毎週失業給付を受けることができる。しかし次のような場合には6週間を限度に失業給付の支給が停止されている。一つは正当な理由なしに就職を拒否したとみなされる場合である。この理由で給付を停止される例は実際には少ない。1971年では失業給付総申請件数の0.5%であった。給付が停止される他の理由は、失業の責任が本人に帰せられると考えられる場合である。これには失業が本人の「自発的」な辞職によるとみなされた場合や、本人の「不始末」によるとみなされた場合がある。これらの理由による給付の停止件数は少なくない。1971年では前者の場合が総申請数の7.8%、後者は4.4%であった。

III

失業者は失業給付（国民保険）とは別に、あるいはことに追加して補足給付を受けることができる。この場合にも労働可能な者は職業紹介所で登録することが受給の要件になっている。

ところで一般に失業者が補足給付を申請するには次のような場合が考えられる。

(1)失業給付期間（最高1年）を越えた場合や、それまでの抛出が不十分なため給付額が低額である場合。(2)失業給付だけでは不十分である場合。所得比例補足（失業給付）が得られない場合や高い家賃を支払っている場合などが考えられる。(3)失業給付を停止された場合（最初の6週間に限られているが）。この場合にも低額であるが補足給付は受給できる。

補足給付を申請する者は、失業給付受給者のように単に雇用省での手続だけで給付を受ける訳にはゆかず、書式をそろえて保健社会保障省に申請しなければならない。申請者は地方事務所面接を受けまたは自宅訪問を受け補足給付を受けることになる。

しかしながら特に失業者に対する補足給付の支給には、4週間後に特別面接を行なってその後の支給を抑制したり、3か月後に詳しい事情聴取を行なうなど、これを規制する方針が取られている。これは若者が休暇を楽しみながら、失業を理由に補足給付を受給するなど、補足給付の悪用を規制する目的で採用されているものであって、就業する機会が多いと認められる地域に住む45歳未満の単身不熟練労働者がこうした規制の対象となっている。

IV

雇用省が失業給付を停止する場合の判断の根拠は、以前の雇主または紹介した雇主の証言である。そしてこの仕組みは権利意識にとぼしい、失業におちいるような状況をコントロールすることができない人々に最も重いインパクトを与えることになっている。より賢明な者は失業給付を受けられなくなるような状態を避けるよう注意をはらうことができ、失業給付と所得比例補足を受け、さらに剰員整理支払金や所得税の払戻を受けるかもしれない。これに反しこのような注意を十分払えない人々は、失業給付を停止されるだけでなく、最も再就職の機会に恵まれない不熟練労働者でありながら、補足給付からも4週間後にはしめだされてしまうのである。

V

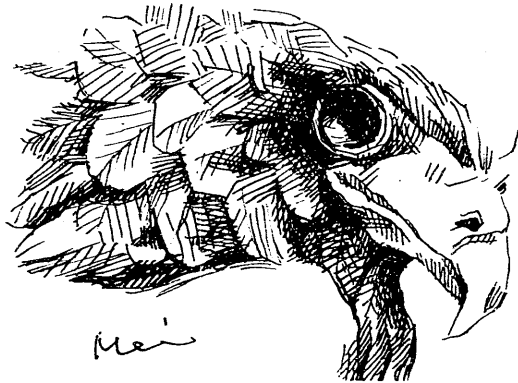
失業給付の支給に関する規制は6週間という期間に限定され、法律に定められた範囲内で実施される。これに対し補足給付の規制は運用上の規則で定められており、その抑制効果ははるかに高い。そしてこれら両制度が互いに作用しながらもたらされる結果は、失業者の間に二つの階級を作ることである。失業給付だけで維持できる階級と、補足給付にたよらざるを得ない階級とを生みだしている。前者の場合でも失業が長期化し就職の機会がますます遠ざかれば、補足給付に依存せざるをえなくなり、ますます抑圧的な規制を経験しなければならなくなる。

保険の原則にこだわることなく、非自発的な失業者には無期限に十分な給付を

支給するとともに、妥当な額の、そして普遍的なタックス・クレジット制度を採用することが必要で、これではじめて失業者の間の二つの階級をなくすことができる。これが著者の結論である。

Michael Hill, Policies for the Unemployed: Help or Coercion? (Poverty Pamphlet 15), Child Poverty Action Group, April 1974.

(一圓光弥 健保連)



社会保障こぼれ話

企業福祉制度

(アメリカ)

この国の企業福祉制度は、従業員とその扶養家族に対して、所得維持の現金給付や医療費の給付などを提供している。この制度は多種多様な形をしており、各種の活動は拡充を続けている。しかし、その活動のいわゆる成長率をみれば、1972年の成長率は前年より若干低くなっているが、このような低下が現われたのは1967年以来初めてのことといわれる。

たとえば、拠出では、1972年には対前年比が12.9%であるが、1971年の対前年比は約14%で、この比率は1970年より2%高かった。もっとも、上述したような低下が現われているにもかかわらず、賃金や俸給が上昇しているので、拠出収入は、確実に増大している。また、給付の費用は1972年に総額325億ドルを記録しており、これは前年より約35億ドル増大している。しかし、対前年比では、1972年の11.9%という上昇率はその直前4年間における比率と比較すれば、若干低くなっている。1972年の比率が低下しているのは、1971年における経済安定政策による物価上昇のカーブが、1972年における医療費の支出増大を若干制約したからであろうとみなされている。ちなみに医療費の支出は給付費合計の約50%を占めていたといわれる。

ところで、企業福祉制度のうち、私的年金の部門だけをみれば、私的年金に対する労使双方の拠出は、1972年にかなり増大し、拠出収入は約185億ドルで、これは10年前の3倍以上に相当する。この拠出は対前年比で11.4%になるが、この比率は1971年の比率を若干下まわっていた。もっとも、1972年の比率は、この数年間の動向からみれば、ほぼ平均的な数値といえる。1972

(36頁へ続く)